

株式会社 水登社

設計、加工、そして組立 確かな技術を水登社から世界へ



企業の特徴・強み

当社は、1938年の創業以来、一貫して油圧配管の加工製造に携わってきました。85年以上を経た今、当社の製品は油圧ショベルをはじめとする建設機械や、消防車をはじめとする特殊車両など幅広い分野で採用されており、業務内容は製品加工だけではなく、設計・組立・サービスなど多方面に広がっています。

現在、国内6拠点に加え、中国の無錫・常州、そしてフィリピンと、海外に3工場を構え、従来以上にお客様のニーズにフレキシブルにお応えできる生産体制を構築しています。

また、2015年より航空機リース事業に参入。2019年には、これまで培ってきた油圧配管の加工技術を活かして配管加工設備の輸入販売をスタート。2021年からは、従業員の「食」を支えるため稲作事業を開始いたしました。

人と人、ビジネスとビジネスのパイプ役となるべく、様々な分野で取組を進めています。



オンリーワン認定製品・技術について



直径6.25mm～114.3mmまでの配管を、素管の切断から曲げ・溶接・酸洗・塗装、さらには他メーカー様で作られた製品と当社製品のサブ組立、そしてお客様へのJIT(Just in time)納入まですべて水登社一社で一貫して行っています。高圧パイプ、低圧パイプのほか、薄肉排気管、小径管、ハンドレールなど、様々な種類のパイプを製作でき、取引先は、国内のみならず、アメリカをはじめ、ブラジル、ベルギー、インドなどアジアから欧米まで、当社の製品は世界各国で使用されています。

加えて、JIS規格・取引先規格等に対応する溶接士を育成するなど、更なる技量の向上に努めています。また、工程管理により、不具合が発生しない・流出しない仕組みを構築。厳しい品質が求められる中で、今後も信頼と実績を築いていきます。



最新トピックス・アピールポイント

2023年12月頃に自動水素リークテストロボットを導入しました。水素リークテストとは、パイプの中に水素を含むガスを充てんし、漏れ出たガスを水素センサーで測定することで漏れの有無を検査するものです。今まで手作業で行っていた本テストについて、自動で行えるロボットを導入することで、作業者の負担を軽減させ、加えて、より安定した検査を行うことができます。

今後も、業務の効率化と品質の安定化を実現すべく、自動化を進めていきます。

COMPANY PROFILE



当社は、油圧ショベル等建設機械に取り付けられる配管(パイプ)の専門メーカーです。高圧パイプや低圧パイプ、マフラー管、手すりや柵など、さまざまな用途の配管が油圧ショベル1台あたり約20本取り付けられています。当社ではこれら各種配管を製作しています。

「社会の縮図が社内にあるべき」という考えのもと、当社では外国籍社員をはじめとする様々な人材が社内でも共に働いています。「雇用の多様性」から生まれる強固な組織体で、古くから多様な文化を受け入れてきた兵庫・神戸の地から、地元で培った当社の技術やサービスを海外へ発信し、創立100周年に向け力強く進んでまいります。

DATA



所在地	神戸市西区室谷2-1-2
従業員数	213名
資本金	9,950万円
設立	1951年4月
代表者	代表取締役 平井 大介